

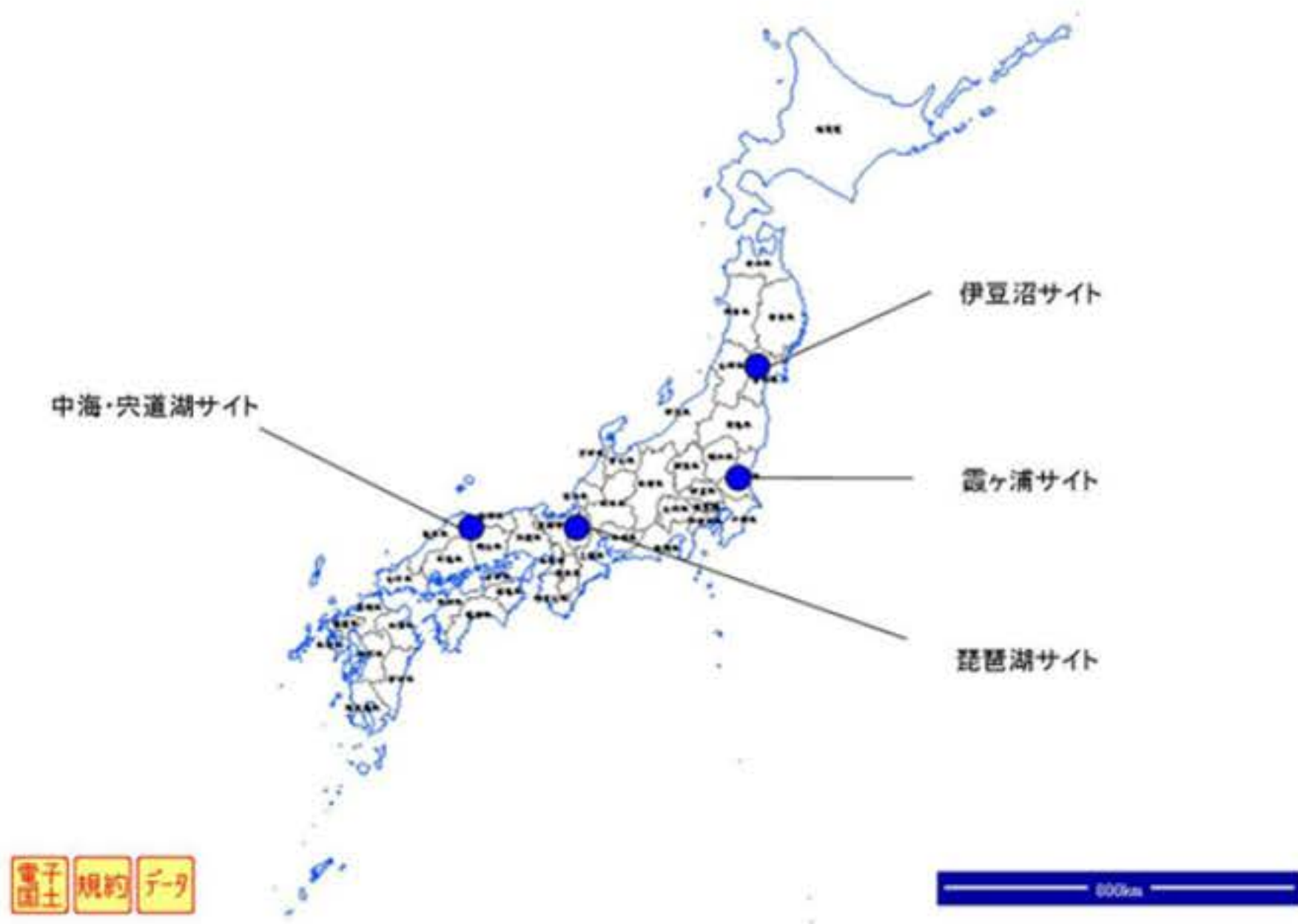
「植生調査」を実施しました

平成22年6月21日に宮城県の伊豆沼で、6月29日に茨城県の霞ヶ浦で、6月22日に滋賀県の琵琶湖で、6月20日に  
中海の島根県側で、モニタリングサイト1000陸水域（湖沼）調査の「植生調査」を実施しました。

調査の実施に当たっては、伊豆沼サイトの財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、中海・宍道湖サイトの島根  
大学汽水域研究センターなどにご協力いただきました。

主な調査項目は、ヨシなど高茎植物の生育状況です。調査では、湖岸のヨシなどの群落に方形枠を設置して、枠内  
に生育する全個体数をカウントし、それぞれの高さと稈（かん：イネ科植物の茎を専門用語でこう呼びます）の直径  
を計測しました。これらのデータは、湖辺植生の現存量の目安になります。

なお、9月には島根県の宍道湖でも植生調査を実施する予定です。



湖沼調査サイト位置図

調査風景



琵琶湖サイトのヨシ群落（スケールバーは2m）



稈の直径の計測



高さの計測（このヨシは182 cm）